参考資料２
前回委員会における主要意見とその対応方針

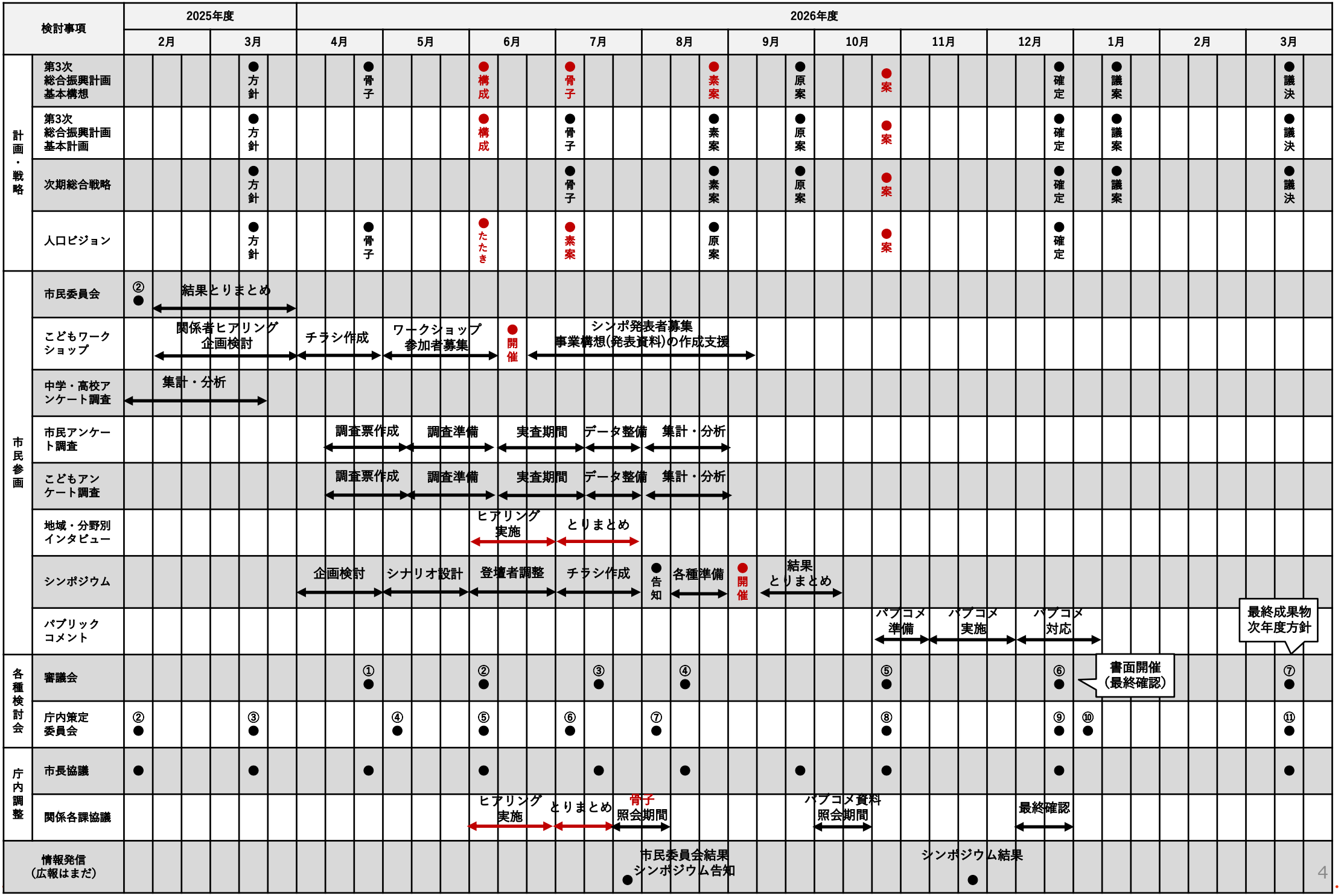
●前回委員会における主要意見とその対応方針

主要意見		対応方針
テーマ	内容	
【資料11】 浜田市版ウェルビーイングの考え方	「次のステップ」で何を実施するのかを明確にする必要がある。	次回委員会に向けて、詳細分析を行う。
	全国平均との比較について、単純比較だけでは政策に反映しにくいのではないか。 年齢別など、より政策検討につながる分析軸が必要ではないか。	因子別に浜田市と全国平均との差を示す。 年齢別等の個別データが取得できる場合は、追加分析を検討する。
	幸福度は数値目標として設定するのではなく、市民アンケートで測定し、推移を把握していく理解でよいか。	幸福度は毎年把握し、時系列で管理していく。
	幸福度向上と人口減少対策として実施する施策は、同じものとして整理するのか。	両者は関連付けることは可能だが、完全一致するものではない。 総合振興計画と総合戦略の関係性を整理する。
	幸福度向上のために新たな事業や既存事業の見直しが必要となるのか。 予算化を考える場合は、早期に整理が必要ではないか。	幸福度向上を目的とした事業の可能性はあるが、まずは既存施策との関係を整理する。 次回、事業・予算体系の整理が必要か、及び見せ方を示す。
	KGIに政策KPIがぶら下がるため、KGIが変わる場合は政策KPIも変わるのではないか。	ウェルビーイングを上位目標とした場合のKGI・KPI体系を整理する。

●前回委員会における主要意見とその対応方針

主要意見		対応方針
テーマ	内容	
【資料12】 第3次浜田市 総合振興計画 素案①	p43以降の3つの目標は今回初出なのか。 内容・文言に問題がないか確認が必要ではないか。	内容自体は大きく変わっていない。 文言については、教育委員会に確認する。
	各政策のKPIは、主な施策の上に配置した方が自然ではないか。	「政策→アウトカム指標→主な施策」の順に見えるよう、資料構成を調整する。
	重点プロジェクトはすべて計画に反映されているのか。	一部反映できていないものもあるが、おおよそは網羅している。 反映状況を整理し、必要に応じて追記・調整する。
	政策と施策で担当部署が分かれる場合、KPIをどのように管理していくのか。	KPIは個別組織に紐づきすぎないアウトカム指標として整理する。 部署横断での管理方法を検討する。
	KPIの達成状況は議会に報告するのか。 また、KPIオーナーを決めておかないと委員会で説明が難しくなるのではないか。	議会への報告は行う。 KPIオーナー及び進捗管理体制について整理する。
	協働のまちづくりについて、条例との整合は図られているのか。	条例との整合性について、今後の審議会で検証していく。

●全体スケジュール


検討事項
2025年度
2026年度
2月
3月
4月
5月
6月
7月
8月
9月
10月
11月
12月
1月
2月
3月
計画・戦略
第3次 総合振興計画 基本構想
第3次 総合振興計画 基本計画
次期総合戦略
人口ビジョン
●方針
●骨子
●構成
●素案
●原案
●案
●確定
●議案
●議決
●たたき
市民参画
市民委員会
②●
結果とりまとめ
こどもワークショップ
関係者ヒアリング 企画検討
チラシ作成
ワークショップ 参加者募集
●開催
シンポ発表者募集 事業構想(発表資料)の作成支援
中学・高校アンケート調査
集計・分析
市民アンケート調査
こどもアンケート調査
調査票作成
調査準備
実査期間
データ整備
集計・分析
地域・分野別インタビュー
ヒアリング実施
とりまとめ
シンポジウム
企画検討
シナリオ設計
登壇者調整
チラシ作成
●告知
各種準備
●開催
結果とりまとめ
パブリックコメント
パブコメ準備
パブコメ実施
パブコメ対応
最終成果物 次年度方針
各種検討会
審議会
①●
②●
③●
④●
⑤●
⑥●
書面開催 (最終確認)
⑦●
庁内策定委員会
②●
③●
④●
⑤●
⑥●
⑦●
⑧●
⑨●
⑩●
⑪●
庁内調整
市長協議
●
関係各課協議
ヒアリング実施
とりまとめ
骨子照会期間
パブコメ資料照会期間
最終確認
情報発信 (広報はまだ)
市民委員会結果 シンポジウム告知
シンポジウム結果